

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2012年12月 | トップ | 2013年02月 》

検索

2013年01月31日(木)

福島事故とIAEA

アーカイブ

「原発がこわい女たちの会ニュース」83号から一部再録します

チェルノブイリ事故とIAEAの役割はどうだったかを知ることが必要です。
IAEA(国際原子力機関)は、原子力利用の推進と軍事転用の防止を目的として1957年に国連の下に設置され、ウイーンに本部が置かれている。チェルノブイリ事故が起きて以来、この20年間IAEAがはたしてきた役割は、
事故隠しへの加担と被害の過小評価の歴史であった
と「チェルノブイリを見つめなおす」(発行2006年・今中哲二・原子力資料情報室編著)に書かれています。
事故5年後の1991年5月 の国際チェルノブイリプロジェクト報告会では
1989年春にチェルノブイリ周辺の詳細な汚染地図が公表された。IAEAでは放射線影響研究所・重松逸造を委員長とする「国際チェルノブイリプロジェクト」が作られ、1年間の調査の後に報告会が開かれた。「汚染にともなう健康被害は住民には認められない。もっとも悪いのは放射能を怖がる精神的ストレスである」と結論を出した。
ベラルーシやウクライナの抗議は無視された。

私はその2か月前、1991年3月に「チェルノブイリ調査・救援女性ネットワーク」のメンバーとして旧ソ連に行った。
日程の最後にモスクワからトゥーラ州に行く時、運転手のストライキに出くわして、代わりに運転手が来るまで2時間以上待たされた。その間に、事故後の困難な状況を把握できる立場にいた、引率して頂いた女医さんにいろいろ話を聞くことが出来た。彼女いわく、3年目位に日本の広島から来た重松という専門家に「大したことはない」と言われたので安心していたが、その後、子どもたちに次々異変が起き大変な事になったと言われた。事故処理作業に入った若い兵士も郷里へ帰ってからさまざまな異変が発生したので、その後は40歳以上の人にした。等。
最初に訪問したベラルーシのミンスクの小児血液病センターでは、白血病で子どもたちが今朝2人、昨日も何人か亡くなったと医師から説明を受けた後、治療中の子どもたちの母親たちと交流した。ある一人の**母親が一番最初に私たちに問うた言葉が「広島の子どもたちは、まだ生きているのか」**だった。私たちと同行していた共同通信広島支局の人が「元気に生きています」と答えた。私はこの時、何も発言することも出来ず、押し黙っているしかなかった。
そして最後の日に広島の放射線影響研究所の故重松逸造氏の話が聞かされ、日本の広島・長崎の経験は被ばく者の思いとは別に、唯一の研究所の肩書を持って、被ばく者を切り捨てるための役割に加担している事を、この時私は初めて思い知ったのである。

今福島で、同じことが行われるのではないかと危惧している。 (松浦雅代)

■福島第一原発の事故処理作業者の状況

昨年の11月福島第一原発の廃炉収束作業に向けた政府と東電の中長期工程表で、約2万4300人を確保とされている登録作業員が、実際は約8000人と3分の1だったことが報じられた。

日系ブラジル人向け新聞に下記福島第一原発の求人広告!
(昨年の12月)
→日本語に翻訳すると
「廃棄物の除去・20キロ圏内/日当3万円/1日2時間」
「廃棄物の除去・安全な場所/日当1万円~1万2千円/日曜日・住宅と3食付」

廃炉収束作業は莫大な汚染水と廃棄物、放射線被曝との闘いの様相を呈し、労働者の供給がそれに追いつかない状態にある。
(脱原発情報・ブルサールに反対する双葉住民会議発行no149より抜粋)

■本の紹介

3.11後、原発に関する本がたくさん出版されていますが、お勧めの本です。

★サイレントウォー 見えない放射能とたたかう

今中哲二さんの本です。項目別に分かりやすく説明があります。最後に今中さんのお母さん今中茂子さんの「私の原爆体験記」があり、おわりにかえて、被曝2世の今中哲二さんご自身のことが書かれています。
講談社 定価1500円(税別)

★原発事故後の日本を生きるということ

小出裕章/中島哲演/榎田劭 3氏の、いのちの原理で未来を拓く珠玉の対談・提言集

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

関西にお住まいの3人ですがそれぞれの違いがおもしろい。
農文協ブックレット 定価800円(税別)

2013-01-31 | 記事へ | コメント(0)

2013年01月30日(水)

福島原発告訴団から緊急署名のお願いです

福島原発事故の責任を問うて、昨年6月の福島県民による1324人の第一次告訴に続き、11月には全国に呼びかけ13000人を超える大集団告訴・告発を行いました。和歌山県内では40人参加しています。

これらの告訴・告発はすでに受理されています。しかし、政権が変わり原発の推進が再びなされようとしている今、さらに多くの人びとの思いを検察に知らしめていく必要があります。
福島原発事故に関して、厳正な捜査と起訴を求める署名にご協力ください。

第一次締め切りは2月15日です。
詳しくは、福島原発告訴団のHPにあります。署名用紙もこちらからダウンロードできます。

<http://kokuso-fukusimagenpatu.blogspot.jp>

2013-01-30 | 記事へ | コメント(0)

2013年01月13日(日)

2013年・2年目の春を迎えて

残念ながら原発推進の自民党の政権になりました。
原発を止めるために今年もよろしく願います。

昨年12月15・16日に行われた**脱原発世界会議 2 Nuclear Free Now** の報告です。
主催・Nuclear Free Now実行委員会(ピースボート、グリーンピース・ジャパン他10団体)



福島の事故で私たちは学びました。これからは原発なしで暮らしたい。
でも政府に任せては「原発ゼロ」は実現しません。
12月15～17日、日本政府と国際原子力機関(IAEA)が「原子力安全・福島閣僚会議」を郡山で、開きました。
これに合わせ、世界の人たちと行動を起こしましょう。(開催の趣旨)

「Nuclear Free Now」は東京・日比谷と福島・郡山で同時に行われた参加型アクションでした。
12月16日は衆議員議員の選挙日でした(そのため、初めて期日前投票をしました)。
12月15日～16日、私も2日間スピーカーの一人として参加しました。
会場の日比谷公園では「さようなら原発世界大集会」と「脱原発世界大行進」が開催され、日比谷公園の近くの「東商ホール」と「イノホール」の二つの会場で「脱原発世界会議2」が9セッションにわかれて開催されました。私が参加したのは2つのセッションです。各会場は同時通訳でした。

12月15日はイノホール

16:00からのテーマC「脱原発社会の作り方」②日常のモヤモヤから政治へ—手をつなぐ女たち—
参加者各自、5分間のスピーチでした。
このセッションでは14:00からスピーカーの集合があり、通訳も入った自己紹介や質問があり、私なんかは誰も知り合いが居ないし、初めてお会いする人ばかりでした。
上野千鶴子氏の「ウィメンズアクションネットワーク」(WAN)がコーディネーター担当だったので、キャリアウーマンの集まりの中に何故か普通のおばさんの私

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora(12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora(09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

<		2013年01月							>	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
		1	2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31								

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

が厚かましく入ってしまった感じでした。上野千鶴子氏の周りには普通のおばさんは居ないのですが、レセプションの席で、彼女と女性の地位向上がなかなか進んでいない日本の原因について話す機会がありました。また、若いスタッフと和歌山での再会を約束しました。実現したいと思っています。

12月16日は東商ホール

10:00からのテーマC「脱原発社会の作り方」③原発を止めた人たち
参加者各自8分間のスピーチでした。トップバッターだったので、最初から和歌山県下原発誘致のうごきをはじめた年を間違っ話しているのを、後日YouTubeで見つけました(正しくは1967年)。このセッションには青森県の小笠原厚子さん福井県の石地優さん山口県の清水敏保さんも参加されていました。みなさん何度かお会いした方でしたので、気分的には楽でしたが小笠原さんと話す時間がなかったのが残念でした。
スピーカーと会場の参加者との質疑やスピーカー同士の交流がメインでした。私が一番感心したのは若いスタッフがたくさん参加していた事です。選挙期間中だったので会場の参加者は少なかったのですが、3.11後の若い人の動きとして持続した行動が続くように願うばかりです。

会場に出あった女性

下のピエロは15日の日比谷公園の行進に参加するためにイイノホールのトイレで着替えをしていた2人の女性の一人。私もこんなのやってみたくて云う興味もあって声をかけた。和歌山の田辺市の出身、その上「つゆくさの会」を知っていたので、びっくりしました(写真公開は了承済み)。



日比谷公園での集会や行進には時間がなくて、私は参加できませんでした。(松浦雅代)

「Nuclear Free Now」とは

2012年1月14~15日にパシフィコ横浜に1万人以上を集めた「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」を引き継ぐ2回目の世界大会。
詳細については、以下のサイトにあります。フォトギャラリーもこちらから。
<http://npfree.jp/index.html>

そのなかから脱原発世界会議2の会議プログラムと、松浦が関係したセッションの内容を紹介しておきます。

【 脱原発世界会議のプログラム 】

2012年12月15日(土)

- 10:00 - 12:00(東商ホール) テーマB(チェルノブイリから学ぶ)①
低線量被ばくとIAEA・WHO
(イイノカンファレンスセンター)テーマA(原子力を規制する)①
どこか変だよ、今の原子力規制
- 13:00 - 15:00(東商ホール) テーマC(脱原発社会の作り方)①
「原発ゼロ」へ政府と政治がやるべきこと
(イイノカンファレンスセンター)テーマA(原子力を規制する)②
原子力規制への市民の提言
- 16:00 - 18:00(東商ホール)テーマB(チェルノブイリから学ぶ)②
放射線防護のための被災者支援のあり方とは
(イイノカンファレンスセンター)テーマC(脱原発社会の作り方)②
日常のモヤモヤから政治へー手をつなぐ女たち

2012年12月16日(日)

- 10:00 - 12:00 (東商ホール)テーマC(脱原発社会の作り方)③
原発を止めた人たち -
- 13:00 - 15:00 (東商ホール)テーマC(脱原発社会の作り方)④
自然エネルギーと分散型社会への道筋はこれだ -

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
RSS

ID:

PASS:

サイト管理者

SSLモードでログイン

**BLOGariは2017年1月末
サービス終了します**

16:00 - 18:00 (東商ホール)まとめの会
できる! つくろう 原発のない社会 -

【 松浦がスピーチしたセッションの内容 】

テーマC(脱原発社会の作り方)②

日常のモヤモヤから政治へ一をつなぐ女たち

原発をなくすには女性の力が必要だ。世論調査では常に男性より多くの女性が原発ゼロを望んでいる。けれど議会や選挙に期待できないとか、デモは政治と思われてないとか。そんなモヤモヤが政治につながることを語りあいます。

※「福島・水俣・レスキューーズ」上映(小淵真理さん[福島アウシュヴィッツ平和博物館]他取材協力)

- ・上野千鶴子 ウィメンズ アクションネットワーク
- ・ミランダ・シュラーズ ドイツ政府環境諮問委員会委員
- ・松浦雅代 原発がこわい女たちの会
- ・橋本典子 上関原発を建てさせない祝島島民の会
- ・アミー・クロンブラド スウェーデンの女性組織リベラル・ウーマンの元メンバー、元地方議員
- ・寺町みどり 『市民派政治を実現するための本』共著者
- ・今大地はるみ 福井県敦賀市議
- ・植田真紀 元香川県高松市議

テーマC(脱原発社会の作り方)③

原発を止めた人たち

これまで市民の活動が、数々の原発を止めてきました。これから原発ゼロを実現していくのも、市民活動の力です。原発建設を止めた日本の運動、イタリアやリトアニアの国民投票、韓国や台湾の運動、そして原発輸出を止める活動を実践している人たちと出会い、学びましょう。

- ・松浦雅代 原発がこわい女たちの会
- ・モニカ・ゾッペレーガンピエンテ、イタリア
- ・アンドレイ・オザロフスキーベローナ、リトアニア
- ・キム・ヘジョン 環境運動連合、韓国
- ・ライ・ウェイデー 台湾緑色公民行動連盟
- ・小笠原厚子 あさこはうす
- ・石地優 プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会
- ・清水敏保 上関原発を建てさせない祝島島民の会

2013-01-13 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

RSS 2.0